

(応募補助用紙)

## 「求人者支援員」(表面)

応募者氏名 \_\_\_\_\_

【次の質問に、お答えください。】

【回答欄が不足する場合は、枠欄を適宜拡大して構いませんが、できる限りA4両面にまとめてください。】

- 1 (保持資格等一覧)(知識・実務経験等一覧)の中から、該当するものがあれば、該当番号をすべて記入してください。  
また、当該資格や知識・経験等を生かした業務経験の詳細を教えてください。

(該当番号)	(業務経験の詳細)

- 2 あなたが今回の求人職種に採用された場合、取り組んでみたい支援内容を具体的に記入してください。

--

---

### (保持資格等一覧)

- ① キャリアコンサルティング技能士(1級又は2級)、キャリアコンサルタント国家資格、産業カウンセラーのいずれか。

### (知識・実務経験等一覧)

- ② 企業(事業所)との関係や企業(事業所)に関する知識・経験を活かした求人開拓ができる。  
③ 企業(事業所)の人事労務管理に関する知識・実務経験を有する。  
④ 職業相談・職業紹介に関する知識・実務経験がある。  
⑤ 労働局管内の商工・労働分野に関する見識がある。

【裏面は、記入できる方のみ(記入できる箇所のみ)記入をお願いします。】

(応募補助用紙)

## 「求人者支援員」(裏面)

3 勤務している(いた)部署、期間、職種、主に支援している(いた)対象者又は事業主を記入してください。(複数ある場合は、一番長く勤務していた時のものを記入してください。)

(例:〇〇安定所) (例:〇〇株式会社)	(例:令和〇年〇月～現在)	(例:求人者支援員) (例:キャリアカウンセラー)	(例:求人事業主) (例:シニア世代)
-------------------------	---------------	------------------------------	------------------------

4-1 上記3の期間中、担当する業務を進めていく中で、具体的な(個人又は組織の)目標がありましたか。また、当該目標を達成するために、自ら能動的(積極的)に取り組んだ内容について記入してください。  
(目標がなかった場合は、目標なしと記入した上で自ら能動的(積極的)に取り組んだ内容について記入してください。)

4-2 (続き)

自ら能動的(積極的)に取り組んだことで、どんな結果・成果がありましたか。また、どんな課題点があると考えましたか。課題点に対して改善すべき部分や取り組むべき部分等も含めて、具体的に記入してください。

5 上記4の内容を踏まえ、あなたが採用された場合、「新たに挑戦してみたいこと」「特に力を入れて取り組んでみたいこと」「業務改善をして取り組んでみたいこと」等があれば、具体的に教えてください。(表面2の回答以外で)